交流だより

山梨県立あけぼの支援学校
令和２年９月１１日発行
令和２年度第１号

今年度の交流及び共同学習は？

校長　佐田弘和

令和２年度は、渦巻くコロナ禍のもとで新しい生活様式での学校運営が求められています。３密を可能な限り避けるために様々な対策をとって学習を進めているところでありますが、学校における様々な活動は密集と密接は避けて通ることはできません。世の中ではこの「３密」になるような活動は悉く中止になったり延期になったりしています。大変難しい状況にあります。

前置きが長くなりましたが、交流及び共同学習にこの「密集」「密接」はつきものであります。例外に及びません。よって中止及び延期は必定・・・？実はそうではなくこのような状況下でどのような交流及び共同学習ができるのかということを模索しています。方法として上がってきているのは間接交流です。例年、直接交流を行う時の事前事後学習として行ったり、インフルエンザなどの感染症が流行して直接交流ができない時にこの「間接交流」を行ったりしています。

今年は直接交流がないという前提で行う間接交流です。この方法のクオリティーが試されるときです。作品交流、ビデオレターや自己紹介カードの交換等々、様々な方法があります。ともに時間や場所を共有する直接交流には及ばないかもしれませんが、その方法やタイミング、振り返りの仕方などで、直接交流に迫る、あるいはそれを超える成果が得られるかもしれません。要は、子どもたちの心に残り、相互の理解が図られ、その後のそれぞれの生き方によい影響を及ぼすことのできる活動になることだと思います。そんな成果を期待して令和２年度の交流及び共同学習を進めていきます。コロナ禍を逆手にとって、より相手のことが理解できるような活動を目指していきたいと強く思っています。豊かな発想で趣向を凝らした活動が展開されることを期待しています。

今年度の交流について

５月末から学校が再開され、戻ってきた日常を喜び合う児童生徒たちの様子を見ると嬉しい気持ちになります。その一方で、新型コロナウイルスの影響から学校間の交流については、子供たちの健康と安全を第一に考え内容を再検討することになりました。交流を心待ちにしていた児童生徒もいる中、とても心苦しい判断になりましたが、みんなが安心して交流できる時期が早く来ることを願って、今できることを優先していくこととしました。

小学部では、増穂南小、甘利小との直接交流の予定を、ビデオメッセージを送り合い、お互いの様子を伝えあう方法を取りました。中学部では、韮崎西中との直接交流を、プロフィール表の交換やビデオメッセージの交換に変えて行いました。高等部の三校間交流ではプロフィール表を交換し、次回の交流に期待を寄せています。韮崎工業高校との交流では、ビデオメッセージやプロフィール表の交換を行っています。直接的な交流ができない分、プロフィール表やビデオメッセージを通して、交流相手のことをゆっくり考える時間になればと思います。また、次回の交流では、会いたい気持ちが叶うように、準備していきたいと思います。

学校間交流

○増穂南小学校との交流

本校の児童が好きなことや得意なことをビデオに撮り、メッセージとして送りました。その映像を見て、増穂南小の児童が手遊び歌や劇を考えてくれ、それらを披露したビデオメッセージを送ってくれました。そのビデオメッセージを鑑賞すると、動画に合わせて一緒に手遊びをして楽しんだり、呼びかけに声を出して返事をしたりしていました。テレビ画面を通してのかかわりとなりましたが、友

【相手校のビデオメッセージを鑑賞する様子】

達からの呼びかけを楽しむ姿が見られました。

○甘利小学校３年生との交流

【合唱や読み聞かせの映像を鑑賞する様子】

ビデオによる間接交流を行い、普段授業で行っている合唱や手遊び歌、紙芝居などの映像を送ってもらいました。どの発表も楽しませようとする工夫があり、映像を見ながら、一緒に『パプリカ』を踊る児童や、じっと画面を見つめる児童もいました。その後、感謝の気持ちをお礼の手紙に込めて届けました。直接的なふれあいはできませんでしたが、気持ちを伝えることができました。後期は、甘利小５年生との交流を予定しています。楽しみにしています。

○韮崎西中学校との交流

【韮崎西中学校の動画を鑑賞する様子】

韮崎西中学校の福祉ボランティア委員会３０名と間接交流をしました。あけぼの支援学校の生徒が、各クラスで相手校のパートナーに送る自己紹介やメッセージ、授業で行っている「ポートボール」や「『マリーゴールド』の合唱」などの動画を撮って送りました。その動画を相手校の生徒が鑑賞し、自己紹介やメッセージ、『パプリカ』の合唱動画を撮って送ってもらいました。また、その動画を本校の生徒が鑑賞し、笑顔でメッセージに答えたり、活動動画の感想を見て喜んだりすることができました。今までと違う形での交流となりましたが、生徒たちがそれを楽しむ姿が感じられました。形を変えても同年代の生徒とかかわることができる機会を大切にしていきたいと思います。

○高等部三校間交流

【プロフィールカードを書く様子】

甲府商業高校と日本航空高校と行っている三校間交流では、毎年交換しているプロフィール表の作成を行い、交換をしました。届いたプロフィール表は班ごとに廊下に掲示し、「今年度はどんな人がいるのかな」と、じっくりと見ている生徒もいました。第２回の交流会が１２月に予定されています。第２回の交流会を楽しみに、今後はビデオメッセージで声を聞いたり、学習の様子を見たりして、お互いの理解を深めていければと思います。

○韮崎工業高校との交流

【『パプリカ』を踊ってメッセージ作成中】

６月１０日に本校で実施するはずだった、１回目の交流会は中止となりました。毎年、韮崎工業高校の生徒と交流することを楽しみにしている本校の生徒も多く残念でしたが、ビデオメッセージやプロフィール表の交換を行い、お互いの様子を知る機会としました。

ビデオメッセージの作成では、自分たちのことを知ってもらうために、自己紹介や普段の授業の様子を紹介しました。また、韮崎工業高校の生徒へ質問を投げかけ、質問の答えを楽しみにしている児童たちもいました。１月の教材受け入れ式を楽しみにしています。

※前期の交流は全て間接交流として行いましたが、各学部の児童生徒たちの様子から、交流をとても楽しみにしていたことが伝わってきました。直接ふれあえなくてもビデオメッセージやプロフィール表、手紙の交換を通して、お互いの想いを伝えたり、相手のことを考えたりする時間になったと思います。大切にしている楽しみな時間だからこそ、お互いが安心して交流できる時間の作り方をこれからも検討していきたいと思います。